

Doc.No : NR010711

2001年7月11日

半導体・液晶製造装置の生産用部材調達、ネットで運用

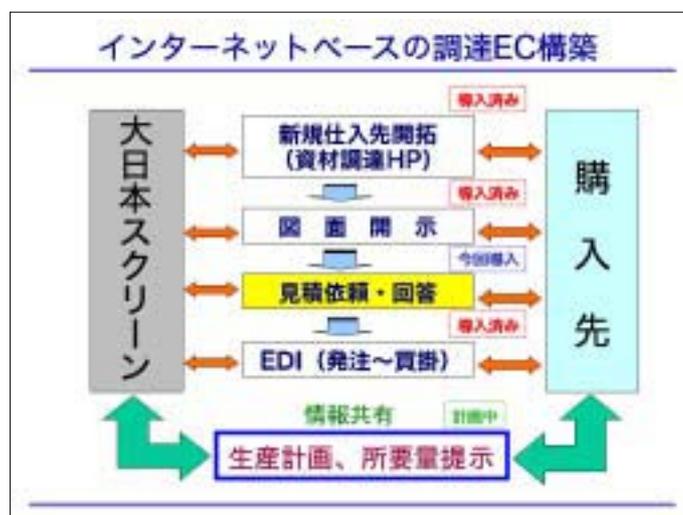
大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)は、半導体・液晶製造装置用部材の電子調達(調達EC)をさらに充実させるため、このたび、仕入先との間で行う部材の見積もりに関する情報交換のネットシステムを構築し、2001年7月16日から運用を開始します。

このネット見積システムの導入により、昨年10月からすでに運用している新規仕入先開拓ホームページ、図面開示システム、発注・買掛情報EDIを組み合わせると、インターネットを介した部材調達の「一気通貫型」のネットシステムが完成することになります。

このシステムは、(株)東芝製電子入札用パッケージソフトに、当社生産管理システムとの連携機能や図面データの自動添付機能を付加したソフトウェアで、東芝がASPサービスを行う東芝データセンター(東京都)において、同システムのサーバーが稼働します。

部材調達時には、従来、仕入先への見積依頼および見積回答はFAXや電話で行われていましたが、これらの手続きをインターネットにすべて切り替えることにより、これら作業の効率化とデータベース化が図れます。さらに、見積情報の共有化により、製品の開発設計から部材見積、仕入先選定と調達価格決定までのワークフローがスムーズとなり、スピーディーな製品づくりが可能となります。一方、仕入先側では、見積もりに必要な図面や部品表、製作仕様書などをインターネット上で閲覧しながら見積回答ができるために、業務の軽減化が期待できます。

対象部品は、一般市販部品から金属、板金、樹脂などの加工部品までを含みます。7月16日からは半導体製造装置を生産する洛西・多賀工場で運用を開始、仕入先約150社を対象に本格的に稼働します。さらに10月以降、半導体製造装置の野洲・彦根工場、電子機器(液晶・プリント基板製造装置)を生産する彦根・久世工場、印刷関連機器を製造する久御山工場、および本社・開発部門で同システムが順次稼働する予定。2002年3月までに当社全工場における調達は、仕入先約800社を対象にすべてネット見積システムへと移行します。また、グループ会社にも拡大していく予定です。



●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

今後、市場の動向に合わせた当社の生産計画、先行手配情報、技術関連情報などや、仕入先の生産進捗情報、在庫情報、新部品情報などを含めて、相互に情報共有ができる仕組みを構築し、ネット調達をベースとする生産システムを確立していきます。

これまでの当社の調達EC実現への歩み

当社は、昨年4月にプロキュアメント本部を発足させ、インターネットを活用した電子調達(調達EC)を推進。昨年9月、資材調達ホームページを開設し、購入部品、写真、仕様、図面などの情報を公開し、新規部材や優れた取引先の発掘と、当社の資材調達に関する考え方、活動などを広くアピール。これに次いで図面開示システムも昨年10月から運用を開始。さらに発注から買掛情報の通知までのインターネットEDI(Web EDI)もスタート。見積もりから決済までの一貫したEDIの構築、調達業務の一層の電子化、電子取引市場での調達などを視野に入れ、調達ECの実現を目指しています。